

民話の深層心理からみた地域精神風土

岐阜大学工学部

○杉浦智也

岐阜大学工学部 正員

秋山孝正

1. はじめに

これまでの町づくりは機能的かつ能率的な面から最適な手法が採用され、多くの成果をもたらしてきた。もし仮に、魅力ある町づくり・個性豊かな町づくりが計画目標として設定されるならば、地域の精神風土の相違性を考慮することで、もっとよい成果を得られることができるのではないだろうか¹⁾。

そこで、こうした従来とは違う視点に立って、地域の精神風土、換言すれば、地域固有の意識について考えてみることににより、地域に即した町づくりの計画理念・指針の提唱をする。具体的には地域に代表される民話群の心理学的分析を行い、民話のなかに表現された深層心理を分類することで精神風土の地域性を見つけ出す。

2. 民話分析による地域性の表現

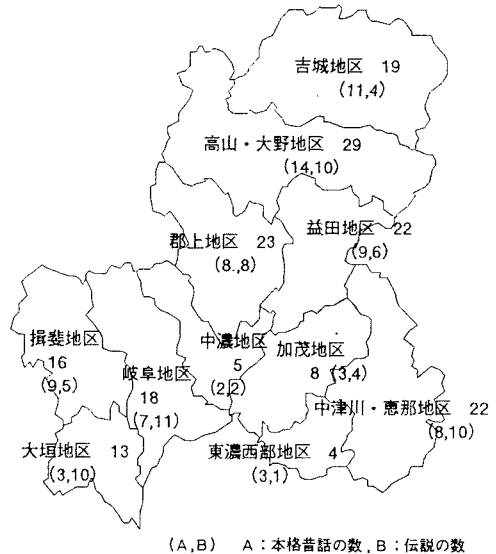
2-1. 民話分析の手法

地域の精神風土は現存している資料でしか知ることはできない。資料には絵巻物や史跡など様々なものがあるが、本研究では「民話」を題材に分析をすすめてゆくことにする。「民話」はやさしい言葉で表現され、入手も簡単である。また、医学・心理学の分野のみならず、すでに土木計画の分野においても「民話」を題材とした研究がおこなわれ、成果も得られている。

本研究は岐阜県を研究の対象とし、広域市町村圏区分²⁾をもとに11の地域に分け、地域ごとに分析結果をまとめる。岐阜県を11の地域に分けた根拠として①歴史上の行政単位②統計的な分類を考えたうえでの便宜③気候や自然環境による深層心理の違いが予測されることが挙げられる。

まず、岐阜県を代表する民話の抽出については『美濃の民話』³⁾、『美濃の民話2』⁴⁾、『飛騨の民話』⁵⁾の3冊の書籍より行なった。その結果、179(2つの地域で重複するもの3話を含む)の民話が収録されていることが分かった。民話はその内容により4つの類型(本

図-1 岐阜県の地域区分と各地区の民話の現存数



格昔話・動物昔話・笑話・伝説)に大分されるが民話のほとんどが本格昔話と伝説で占められている。各地区の民話の収録数とうち、本格昔話と伝説である民話数をあらわしたものが図-1である。地域ごとにみると、飛騨地方(吉城・高山大野・益田の3地区)に比較的多くの民話が残されていることがわかり、歴史的意味からも興味深い結果となった。

次に、民話の心理学的分析をするにあたってのアプローチを紹介する。すでに心理学の分野においては昔話にえがかれる心的世界を解釈した例がいくつかあり、『アンデルセン童話の深層』⁶⁾には「精神分析の手順」として述べられている。本研究でも同様の手法を用いて民話の心理学的分析を行なう。簡単にまとめると以下のとおりである。

①物語の中で起こる事件の背後において、人間の欲望や葛藤がどのように渦巻いているか考えてみる。

②主人公の言動や行動の持つ意味について考えてみる。

③様々な登場(人)物の関係がどうなっているのか[愛情・憎悪・嫉妬・羨望etc.]について考えてみる。

④登場(人)物が何を象徴したもののかについて考えてみる。

⑤物語の結末のもつ意味について考えてみる。

この手順に従い、とりあげた民話のなかで分析の対象となりうるものについては①～⑤全ての視点から解釈を試みた。

2-2.精神風土からみた地域性

前節では各民話について心理学的な解釈を行なった。その結果を踏まえたうえで精神的な特性を例えば、「自己実現」、「あわれの美意識」、「母性と父性の葛藤」など心理学的キーワードによって表現する。表-1は各地区について代表的と思われる民話を2,3話抽出してその深層心理的な意味づけをまとめたものである。しかし、必ずしも単語として表現するのはむずかしいため、検討の余地があることを付け加えておく。

次に、以上のような分析を踏まえて、各地区の特性についての整理を行なう。民話群における人物設定やストーリー展開などが民話をすすめるうえで重要な要素であることに留意しながら、現段階までに考えられる結果をまとめたものが表-2である。しかし、心理学的要件の整理が不十分なため、この結果は完全なものとはいえない。

表-2をみる限り、美濃地方には「活動的・革新的」という特色が、そして飛騨地方には「現状容認」の特色がみられる。

3.おわりに

今後は民話分析によるキーワードの分類を完成させ、分類の結果をもとに、精神的なちがいをもたらした原因を歴史的な事情より考察してゆく。また、現実的プロジェクトに地域性の答えを反映させた場合に、どのような表現がなされてゆくのか考えてみる。

表-1 各地区の民話と心理学的キーワード

	タイトル	心理学的キーワード
吉城地区	手なし鎌 月が酒	女性の自己実現 母性と父性の葛藤 女性の自己実現
高山・大野地区	狐の恩返し 娘と花嫁	善行のむくい 動物愛護 人間のエゴ
益田地区	花吹じさま 裏の元祖	善行のむくい 自然へのおそれ ものを粗末にしない 善行のむくい
郡上地区	雨吹きと竜 八百比丘尼	劣等感 願望実現 あわれの美意識 興次元へのあこがれ 無意識内における無時間性
中津川・恵那地区	鬼助と彦七 つば娘	争うことの無意味さ 共同意識 母性と父性の葛藤 外界的要因と人間の価値の相違性
東濃西部地区	さむらいの目言・月言 置き地蔵	日常生活の革新 超越物への畏敬の念 信仰の重要性
加茂地区	関の太郎 熊が通	日常生活の革新 自然との調和 ルール違反に対する自然の懲罰
中濃地区	お徳の井戸 関の五の木地蔵	超越物への畏敬の念 社会的意識の欠如 自己実現 信仰の重要性 母性と父性の葛藤
岐阜地区	こしき地蔵 なみた岩 ままこ通	自己実現 差別の不合理性 母性と父性の葛藤 独立的な心 差別の不合理性 公共の意識 母性と父性の葛藤
揖斐地区	キツネ女房 ガマ女房 弥次郎と山んぼ	あわれの美意識 劣等感 極度の精神的アンバランス 常識の破壊
大垣地区	夜叉が池 めい太鼓 しぶなしカヤ	日常と非日常 おそれ 公共の圧力に対する反省 あわれの美意識 共同意識

表-2 民話の分析結果による各地区の地域性

吉城地区	自己実現のために神仏といった宗教的な力を借りていることや、女性を主人公としてストーリー展開をさせているものが多いので、受動的・母性的社会でないかとみられる。
高山・大野地区	根本は保守的な思想によって生活がなされているが、時にエゴイズムな部分が生活を支配することがある。
益田地区	現実の寺社を他地区と比較しても極めて少ないが、仏教的な表現形態が多い。日常的な生活を重要視している。
郡上地区	生活水準の向上を望んだり、自然のもつ力を信じようとする姿勢があるのでは。
中津川・恵那地区	共同意識が非常に強いが、生活に必要な施設が少ないために生活改善の要望が地域全体の一つのまとまった意見となって表れている。
東濃西部地区	恵那・中津川地区と同じように共同意識が強い。
加茂地区	生活水準の向上にも協力して共に頑張る生きて行こうとする姿勢がうかがえる。また、自然との調和にも意識が強い。
中濃地区	生活水準の向上を超越物に求めようとする傾向が非常に強い。
岐阜地区	問題解決の努力や精神活動を形式化しようとする傾向が強い。
揖斐地区	民話に怪しげなものを登場させる点から経済的貧困からくる精神的コンプレックスがかなり強いではなかろうか。
大垣地区	自然・超越物に対する畏敬の念が強く感じられる(特に「水」)。

【参考文献】

- 1994 風土分析国際ワークショップ-民話のイメージ分析とその町づくりへの応用-
- 岐阜県統計協会：平成4年度岐阜県統計書
- 赤座憲久編：美濃の民話 未来社,1973
- 赤座憲久編：美濃の民話 2 未来社,1976
- 江馬三枝子編：飛騨の民話 未来社,1958
- 森省二：アンデルセン童話の深層 pp.16-19, 創元社,1988